

有効回答 58 枚（一部未記入、複数回答あり、一部不明瞭な記述有り）

1. 年代

A 10～20 代	1
B 30 代	4
C 40 代	12
D 50 代	16
E 60 代	17
F 70 代	8

2. セミナー開催を何でお知りになりましたか？

A 建築士会会報	37
B セミナー案内	7
C 友人、知人からの情報	15
D その他	2

3. セミナー内容について

A 参考になった	58
----------	----

「そのように感じられた点・理由をご記入ください」

- ① 熊本の写真等
- ② 裏付けに基づく講義で良かった。
- ③ 駆け足気味だった
- ④ 多くの資料を入手できたので、詳しく読み直したい。
- ⑤ 意匠の人間にこそこう言う講習を耳にする必要があると思った。のめり込む様に拝聴しました。片隅に留めながら仕事に活かしたいと思います。しかし、五十田先生の説明はツボをついていて上手いと思いました。
- ⑥ すごく良かったです。耐震構造の奥深さを痛感しました。地震波による応答解析をイメージして設計を進めるよう頑張ります。
- ⑦ 筋交いの量や右上り、左上りで体力違いがよく分かった。
- ⑧ CLT については私も最近知ったばかりだったので、木造の規制緩和に伴い、国内において普及される事は、新たな工法として技術進歩の家庭も含めて期待したいです。
- ⑨ 木造住宅の事を何も知らなかったから。
- ⑩ 木造について勉強になりました。
- ⑪ 大変分かりやすい説明で良かった。
- ⑫ CLT に驚いた。早く実用的になると良いと思う。
- ⑬ 今まで木造の耐震については、あまり知らなかった。2 階建でも設計は必要と感じた。

- ⑭ CLT という材料が構造で有効利用できるという話が参考になりました。
- ⑮ 実験映像は特に参考になった。
- ⑯ 加速度と倒壊とは無関係である事。基準法に頼りすぎ。
- ⑰ 新しい木造耐震の知識を得られた。
- ⑱ 設計施工を見直す切っ掛けにしたい。顧客にさらなる安心を届けたい。見た目だけでなく。

B 不十分だった 1 (複数回答のため)

①もう少し具体的な耐震設計について踏み込んだ講習でも良かったのでは？

C その他 0

4. 東日本大震災、熊本地震、防災・減災に関してご自身の考え方に変化はありましたか？

A 変化があった 40

「具体的に」

- ① 法が min 基準であっても許容応力を割り引いているので想定以上の揺れでも大丈夫、壊れないと信じてきた。
- ② やはり壊さない建物（基準法のみでなく）を設計したいと思った。
- ③ 今まで以上に耐震を考える様になった。
- ④ 壊してエネルギー吸収させることから、壊さないせつけいへ。

B 変わらない 18

C その他 0

5. 東日本大震災、熊本地震、防災・減災に関する自助・共助・公助に対する考え方に変化はありましたか？

A 変化があった 35

B 変わらない 22

C その他

「防災に対する備えがありましたらご記入下さい」

- ① 耐震補強、防火改修
- ② 備蓄に心がけている。
- ③ 共助の方法を具体的に考えなければならない。
- ④ 自分がその災害に当事者となった時、どうすれば良いか問いかける様になった。
- ⑤ 自助はもちろんですが、共助を大切にご近所とつながる様にしている。
- ⑥ 災害は防げないと考えているので、減災（命を守る）に力を注いでいる。
- ⑦ 応急危険度判定士に登録しました。
- ⑧ 食料。

- ⑨ 設計に対する考え方が変わった。
 - ⑩ 設計、構造計画の大切さ。
 - ⑪ 壁量を多くする考え方に変わる、説明責任を設計者が果たすべきと考えるようになった。
 - ⑫ 海拔の低い場所にいると恐怖を感じることもある。
 - ⑬ きゅ助、自助が大切である事が分かった。
 - ⑭ 戸建て住宅地だと向う三軒両隣の大切さを痛感した。
-

6. 東日本大震災 6 年弱、熊本地震 10 か月経過しました、仕事、日常生活で留意されている事がありますか？

- A あり 39
- B なし 17
- C その他 1

「実際に留意された内容がありましたら、ご記入ください」

- ① 小型発電機、生活物資の備蓄
 - ② 予報、ニュースに敏感になった。
 - ③ ネット上にアップされている振動実験の動画はよく見る。
 - ④ 日頃の検査業務でバランスには気を付けている。
 - ⑤ 情報の取得及び正しい情報を選択する事の大切さ、風評被害をどう見分けるか、でしょうか。
 - ⑥ TV よりラジオ、ネットの大切さ
 - ⑦ 正しい耐震についての情報発信を心がけている。
 - ⑧ 1.25～1.5 を目標評点として耐震設計に取り組んでいます。ただ予算が厳しい現実が辛いです。
 - ⑨ 日常品の蓄積を常備している。
 - ⑩ HUG に参加しました。
 - ⑪ 非常持ち出し袋、防災備蓄の具体的な対策。
 - ⑫ 東京ガスの防災セミナー参加。食器棚を倒れないように工夫した。
 - ⑬ 今まで以上に耐震を考える様になった。
 - ⑭ 基準法が最低基準である事の啓蒙。
 - ⑮ 「大きな地震はどこでも起きる」と言い聞かせるようにしているが、なかなかそうは思えない所もある。
 - ⑯ 勤務先への有事の際の早期の連絡を徹底する。
 - ⑰ 耐震等級 2,3 を出来る限り、提案説明するよう、心がけています。
 - ⑱ 旧耐震建物の耐震補強について、金額的な問題があるため、1 室補強（シェルターなど）も進めたいと思っています。
 - ⑲ テレビなどの下に粘着性があるものをはさんでいた。
 - ⑳ 家具の転倒防止対策等です。
 - ㉑ スマートな構造の建物を計画するようにしている。デザイン性との兼ね合いが難しい。
-

7. 防災に対する備えがありましたらご記入下さい

- A 参加したい 42
B その他 0

「具体的に、希望する防災に関する講習会内容」

- ① 共助で参加する時の建築士の役割。
-

8. 防災委員会では、一緒に活動して頂く委員を募集してます。活動についてお聞きします。

- A 興味あり、活動したい 1
B 興味がある 23
C 興味がない 5
D その他 14

「理由等」

- ① 高齢により
② 他の活動で手一杯です。
③ すでに参加済み。
④ 時間が取れない。
⑤ 機会があれば。
⑥ 興味はあるが業務形態上参加は不可能。(60代)
⑦ 多忙。
-

9. その他、ご意見等をお願いします。

- ① CLT について学習機会を作ってください。
② 貴重な機会を企画して頂きありがとうございました。大西さん親睦会お付き合い出来ず、申し訳ありません。
⑧ 家族友人だけでなく、現場でも活動する必要があると思う。
⑨ 望む！ Part II .
⑩ ありがとうございました。
⑪ パワーポイントと資料は同じであってほしいですね。目が悪く書き取りは無理。(70代以上) よって
□に記入したものをメール配布をお願いします。
⑫ ありがとうございました。活躍を祈念いたします。
⑬ 板茂氏「紙の建築」の話を聞きたい。

以上、集計 横須賀支部 高戸憲一 平成 29 年 3 月 1 日